

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2024年 9月 4日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	ベネッセ総合学力テスト					
③主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	【目的・概要】 ・国語・数学・英語各教科についての、学校の授業内容の定着度把握を目的として、学校の履修進度にそった出題をしています。これにより、履修内容に合った学力の定着度確認と苦手分野の把握を客観的に行います。 ・各教科とも、記述式問題により「知識・技能」から「思考力・判断力・表現力」まで幅広い学力の測定が可能です。 ・紙媒体とWebサービスを複合的に利用することができ、生徒一人ひとりが目標設定～自己採点～結果の振り返り・事後学習のプロセスを自発的に取り組める仕組みとなっています。					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	【特長】 ・授業進度にあった弁別性の高い問題で、学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」を利用して教科学力を的確に把握することができます。また、学校生活や学習面に関するアンケートを実施し、その変化とともに学力の変化をご確認いただけます。 ・生徒が自身の力で事前の目標設定～受検直後の自己採点～結果返却後の振り返りと事後学習に取り組める仕掛けを、紙媒体およびWebサービス（無料）の組み合わせで用意しています。 ・先生向けに、受検後の教師用資料として学年視点での概況データ、教科視点での分野別データ等をご提供します。Webサービス（無料）として、先生が生徒の各時点での取り組み状況を確認可能ですので、総合的に事後の指導改善にお役立ていただけます。 【活用例】 1年生7月に実施し、高校1年生の1学期段階での「教科学力」の初期把握を行うことで、その結果を2学期以降の学年の指導計画に反映します。1年生11月・1月に継続的に受検することで学年全体・生徒一人ひとりの学力変化を把握し、学年集会や個人面談の際などに生徒の自発的な学習意欲を喚起することが可能です。					
⑧実施期間、年間実施回数	【実施期間】1年生7月・11月・1月、2年生7月・11月・1月 の計6回 各回とも統一実施日を設け、その前後 1 週間程度を実施可能期間として設定 【お申込み時期】各回とも統一実施日の15～20日前に「申込締切日」を設定					
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語	数学	英語			
	<1年生> 7月：60分 11月：80分 1月：80分 <2年生> 7月：80分 11月：80分 1月：90分	<1年生> 7月： 80分 11月：100分 1月：100分 <2年生> 7月：100分 11月：100分 1月：120分	<1年生>リスニング・リーディング・ライティング 7月：60分 11月：80分 1月：80分 <2年生>リスニング・リーディング・ライティング 7月：80分 11月：80分 1月：90分 ※学校採点のスピーキング問題：5分			
⑪受検料	<1年生> 全回：3,000円 <2年生> 7月：3,100円 11・1月：3,300円 ※すべて消費税等込					
⑫標準返却期間	答案到着後約4～5週間で返却。					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	http://www.bhso.ne.jp ※教員専用URL					

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト

対象教科: 国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者

主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生

□測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲

1年生 7月…高1の7月段階での履修範囲からの出題

1年生 11月…高1の11月段階での履修範囲からの出題

1年生 1月…高1の1月段階での履修範囲からの出題

2年生 7月…高2の7月段階での履修範囲からの出題

2年生 11月…高2の11月段階での履修範囲からの出題

2年生 1月…高2の1月段階での履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針

文章等から得られた情報をもとに推論するなどの思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

□難易度

平均40%前後の得点率となる難易度。

(2)構成等

①出題形式

選択式40%、短答式30%、記述式30%程度。

②出題範囲

※配点、設問数ともに同じ。

実施 学年月	義務教育 範囲	必履修科目範囲 (現代の国語、言語文化)	選択科目範囲	備考
1 年 7 月	20%	80%	0%	
1 年 11 月	0%	100%	0%	
1 年 1 月	0%	100%	0%	
2 年 7 月	0%	50%	50%	
2 年 11 月	0%	50%	50%	
2 年 1 月	0%	50%	50%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整することで過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。
- ・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

- ・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能です。

Ⅱ．結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

□個人成績表

実施後、1 か月前後で帳票に打ち出して実施校に送付。

実施校より受検生徒に配付。

「個人成績表」で提供する内容は次のとおりです。

- ・基本データ [得点、順位・平均点 (全国、都道府県内、校内)、「学習到達ゾーン」 (以下 GTZ ※1)]
 - ・各教科間のバランス
 - ・結果の推移 (復習する教科の優先順位を発見)
 - ・各教科の設問別成績 [設問 (単元) 単位で全国平均との差を提示し、復習する単元を発見]
 - ・復習教材で取り組むべき設問の提示
 - ・デジタルサービス (Web 上の教材) の取り組み状況 (自己採点と実際の得点の差異、実施直後から個人成績表返却までの期間におけるデジタルサービスの復習問題の取り組み状況)
- ※1 : GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□採点済答案・生徒向け復習ガイド冊子（無料）

解答の解説と解答例を生徒向け復習ガイド冊子で提供するとともに、後述するデジタルサービスで復習に取り組むことができます。

上記を各教科の記述式問題のうち重要な設問 2～3 題について実施します。

□デジタルサービス（無料）

受検者個人が取り組む Web 上の復習コンテンツ。

Web 上で自己採点をする、弱点分野の復習教材が提示され、解説動画が視聴できます。

デジタルサービスの取り組み状況は受検生徒個人、在籍校の教員にフィードバックされます。

(2) 学校等への結果提供内容・方法

□教師用成績資料（ダイジェスト版）・・・紙帳票での提供

提供する内容は次のとおりです。

- ・「国数英総合」「国英」「数英」のコース集計および各教科の得点、受検者数、平均点等
- ・同、度数分布を使った過年度比較、過回推移
- ・対策が必要な設問
- ・生徒個人の受検結果

〔得点、順位、「学習到達ゾーン」（以下 GTZ ※1）の一覧。過回の結果を含む〕

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□教師用成績資料（詳細版）・・・Web サイトからのダウンロード形式で提供

提供する内容は次のとおりです。

- ・教師用成績資料（ダイジェスト版）で提供しているデータのクラス別結果

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

□評価について

設問ごとの配点に基づいて得点合計を算出し提供。

学習到達度の目安として、「学習到達ゾーン」（以下 GTZ ※1）を提供。

教科間のバランス比較、過去からの成績推移などは、GTZ 等で確認することができます。

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

□過去の成績との推移を比較する方法について

実施年度・時期や母集団の差異に起因する得点分布・平均点の違いは、GTZ を用いることで同一尺度での比較が可能となるため、GTZ を中心に PDCA サイクルを回していくことができます。

＜GTZ 設定方法＞

受検者全体のうち上位何%を各 GTZ の下限にするか、過去の受検者の実績を基にあらかじめ決めており、そこに実際の受検者の結果データをあてはめて決定しています。

＜GTZ の目安＞

GTZ の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて、段階ごとに、各教科の「○○できる」という段階別評価を記載しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

- ・必ず複数名の作問スタッフが問題作成から検討までを行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、さらに実施前のモニター受検を通じてあらかじめ難易のチェックをしているため、毎回同じ難易を維持できています。

(2)学校における実施方法

- ・弊社から学校に問題・アンケートなどの資材を送り、学校で実施していただきます。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供。
- ・問い合わせ窓口を設けており、質問を受け付けられるような体制を敷いています。また、各校に弊社の担当者が拠点ごとに配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応ができるようになっています。
- ・学校には、以下①～④を行っていただきます。
 - ①検定日までに受検料の送金
 - ②送付物（実施資材）の内容確認【問題冊子、解答用紙、「実施の手引き」、受検者集計表、返送用小物類】
 - ③当日の試験監督（事前説明、問題冊子等の配付、答案回収等）
 - ④実施後の解答用紙の整理・発送

(3)採点の方法と体制

- ・弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ・ 弊社は、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（P マーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図っています。

全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールへの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- ・ 緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- ・ 事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

① 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応。

② 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

□ 事前学習教材

- ・ 学習シート（無料）
「受検前」「受検」「受検直後」「成績表返却後」の4つの期に分け、各期でやるべきことを確認できる内容。
- ・ デジタルサービス（無料）
受検した生徒が、動画や一問一答のWebドリルで基礎事項を確認できる内容。

□ 事後学習教材

- ・ 生徒向け復習ガイド冊子（無料）
自身の弱点をみつけるための帳票の見方、誤答を踏まえた解き方のポイントを紹介した採点講評。
- ・ デジタルサービス（無料）
受検者個人が取り組むWeb上の復習コンテンツ。
Web上で自己採点をする、弱点分野の復習教材が提示され、解説動画が視聴できます。
デジタルサービスの取り組み状況は受検生徒個人、在籍校の教員にフィードバックされます。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

- ・ 教科に関すること以外にも学校生活や学習面に関するアンケートを実施し、その変化とともに学力の変化を確認することができます。

(4) 個人受検の可否

- ・ 学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検不可。

(5) 問題内容の情報提供

- ・ 問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使用可能。

(6) その他

- ・ 教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、弊社から直接は行なえません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者

主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生

□測定しようとする資質・能力

義務教育範囲も含めて、

数学Ⅰ 「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データの分析」

数学Ⅱ 「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A 「場合の数と確率」「図形の性質」

数学B 「数列」

数学C 「ベクトル」

に関する資質・能力 等

□出題範囲

1年生7月…高1の7月段階での履修範囲からの出題

1年生11月…高1の11月段階での履修範囲からの出題

1年生1月…高1の1月段階での履修範囲からの出題

2年生7月…高2の7月段階での履修範囲からの出題

2年生11月…高2の11月段階での履修範囲からの出題

2年生1月…高2の1月段階での履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

※一部選択大問や選択コースを設定しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、解答する出題範囲を選択することが可能です。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式・短答式・記述式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、短答式・記述式で出題。

□難易度

平均35%前後の得点率となる難易度。

(2)構成等

①出題形式

短答式（一部選択式含む）40％、記述式 60％程度。

②出題範囲

※配点、設問数ともに同じ。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲 (数学A)	選択科目範囲 (数学A以外)	備考
1年7月	10%	65%	25%	0%	*1
1年11月	0%	50%	50%	0%	*1
1年1月	0%	50%	50%	0%	*1
2年7月	0%	30%	20%	50%	*1
2年11月	0%	30%	20%	50%	*1
2年1月	0%	30%	20%	50%	*1

(※1) 複数の選択大問があるため、必履修範囲の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整を施すことで、過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。
- ・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

- ・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略) ※国語申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略) ※国語申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略) ※国語申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語申請様式参照

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

□主な対象者

主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生

□測定しようとする資質・能力

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力 等

□出題範囲

1年生7月…高1の7月段階での履修範囲からの出題

1年生11月…高1の11月段階での履修範囲からの出題

1年生1月…高1の1月段階での履修範囲からの出題

2年生7月…高2の7月段階での履修範囲からの出題

2年生11月…高2の11月段階での履修範囲からの出題

2年生1月…高2の1月段階での履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、出題範囲を決定しています。

□主として「知識・技能」を問う問題の出題方針

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

□主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

□難易度:

- ・平均35%前後の得点率となる難易度
- ・CEFRにおける「A2～A1」程度

(2)構成等

①出題形式

選択式60%、記述式(一部短答式含む)40%程度。

Listening: 選択式8割程度(7問程度)、記述式2割程度(1問程度)。

リスニングCDによる音声放送。欠席者対応として「会話表現」での受検が可能。

Reading: 選択式5割程度(10問程度)、短答式3割程度(8問程度)、記述式2割程度(5問程度)

Writing: 選択式5割程度(4問程度)、記述式5割程度(3問程度、10～25語程度)。

Speaking: 対面式。(7問程度)。

※「話す」技能については、測定することに代えて問題、解答例及び採点基準を提供。

②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (英語コミュニケーションⅠ)	選択科目範囲	備考
1年7月	25%	75%	0%	
1年11月	25%	75%	0%	
1年1月	25%	75%	0%	
2年7月	10%	80%	10%	
2年11月	10%	80%	10%	
2年1月	10%	80%	10%	

(3)難易度設定の考え方・方法

- ・過去の実施データを参考にして作問を行ったうえで、モニター受検を行うことで難易傾向を把握し、調整を施すことで、過年度・過回で大きく変動しない難易度としています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

- ・学校全体で個々の生徒の習熟度が見られるように、難しい問題から易しい問題までバランスよく出題しています。
- ・一つひとつの問題について丁寧に考え方や解法が書かれた解答解説を通じて、診断後の振り返りができます。

(5)その他特長

- ・難問、奇問のないスタンダードな出題で、学校の指導の成果を正しく測定することが可能。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1)問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2)学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3)採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4)情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照。

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト
対象教科：国語、数学、英語
測定内容の区分：標準タイプ

I. 出題に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準				
			I. (1)	I. (2)	I. (3)	I. (4)	I. (5)

II. 結果提供に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II. (1)	II. (2)
帳票見本：教師用	教師用成績資料(1年) 教師用成績資料(2年)	資料1		○
		資料2		
帳票見本：生徒用	個人成績表(1年) 個人成績表(2年)	資料3	○	
		資料4		
帳票見本：英語スピーキング学校採点キット支援ツール	英語スピーキング学校採点キット支援ツール ※見本はツールを使用して出力したイメージです。	資料5		○

III. 運営に関すること

＜提出必須の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書	資料6
学校用実施マニュアル	実施の手引き	資料7

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

＜提出任意の書類等＞

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
事後学習教材：生徒向け復習ガイド冊子	100%振り返りBOOK	資料8

自分の学力を把握させて
高校生としての学習習慣を意識させる

ベネッセ総合学力テスト 7月

【統一実施日】

6/29^土

【申込締切日】※

5/31^金

【料金(消費税等込)】

ご請求額	3,000円
標準受験料	3,350円

2023年度より料金を改定しています。

「マナビジョン」を
ご活用ください

※ 必ず締切日までにお申し込みください。特に「マナビジョン」の目標設定機能をご利用予定の場合は、早めのお申し込みをおすすめします。

よくあるご質問

Benesse High School Onlineよくあるご質問・お問い合わせ/チャットボット

WEB <https://bhso.benesse.ne.jp> 24時間

※Benesse High School Onlineのご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは、Benesse High School Online内の「先生・生徒ID管理」>「先生ID登録・変更」から発番していただけます。

お電話でのお問い合わせ

お客様サービスセンター

TEL 0120-350455 通話料無料

受付時間/月～金 8:00～18:00 土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

今回のテストの指導上の位置づけ

今回のテストは、高校入学後3か月経過した時点での学力を測定します。学年・クラス・生徒の学力特性を明らかにし、9月以降の教科指導や文理選択指導の判断材料などにご活用いただけます。生徒には自分の学力を把握させ、中学生気分からの脱却を促します。夏休みの学習の動機づけにもご利用いただけます。

配点・試験時間

出題教科	配点	試験時間
国語	100点	60分
数学	100点	80分
英語	100点	60分

英語(リスニング)の出題形式／選択問題として出題(学校単位での選択)

- ① リスニング ◀ ①か②の選択問題です。配点は22点です。
② 会話表現 ◀

- ・リスニングテストは英語の試験時間の最初に実施してください。所要時間は約11分です。
- ・①リスニング・②会話表現はいずれか一方の選択のため、実施時に注意してください。
- ・学校やクラス単位で選択をそろえる場合には、学校・クラスに周知いただくようお願いします。
- ・①リスニング・②会話表現を両方解答している場合は、得点の高い方で成績集計を行います。

時間割例

時間割は、貴校のご都合にあわせて調整してください。下記の例は、参考としてご覧ください。

受験カード記入	国語	数学	英語
8:40～9:00	9:00～10:00	10:10～11:30	11:40～12:40
20分	60分	80分	60分

出題範囲と出題方針

■出題範囲は、履修形態や進捗状況についてのアンケート結果に基づいて決定しています。

■試験の公平性の見地から、出題範囲の取り扱いには十分配慮ください。

■出題範囲とは、各教科・科目とも出題の対象となる範囲のことをいい、含まれるすべての分野・内容を出題することではありません。

出題教科	出題科目・範囲	出題方針
国語	[必答問題] ㊦現代文・論理的文章 ㊧現代文・文学的文章 ㊨古文 [選択問題] ㊩漢文 ㊪現代文・実用的文章)より1題選択	現代文・古典にかかわらず、読解力・記述力を問う出題をします。また、古文の文法においては、履修進度に合わせ、用言の活用までの範囲から出題します。
数学	[必答問題] ①～③数と式(集合と命題は除く)(I) [選択問題] ④2次関数(最大と最小まで)(I) ⑤場合の数(順列・組合せ)(A) ⑥図形の性質(空間図形は除く)(A) より1題選択	数と式を中心に出題します。また、基本事項の確認から応用力を必要とするレベルまで幅広い難易度で出題しますので、各学力層の到達度を測ることができます。
英語	[選択問題] ①リスニング*)より1題選択 ②会話表現) [必答問題] ③文法・語法 ④長文読解 ⑤長文読解 ⑥表現力	中学校3年間と高校入学後3か月間で学んだことが定着しているかどうかを確認します。文法・語法などの基本事項から長文読解や表現力といった応用能力が必要なものまで出題します。また、リスニングも選択問題として出題しますので、低学年から音声面・聴きとり能力についての評価が可能です。

※英語①リスニングの所要時間は、約11分を目安にしています。

●選択問題● 詳細は問題冊子をご参照ください。

教科	選択問題
国語	大問4, 5 ⇒ 1題を選択
数学	大問4, 5, 6 ⇒ 1題を選択
英語	大問1, 2 ⇒ 1題を選択

実施の流れ

実施前

申込締切日 5/31(金)

- ・お申し込み後に、お申し込み部数確認のご連絡をさせていただきます。変更がある場合は、「お客様サービスセンター」までご連絡いただくか、お申込みWEB上で変更をお願いします。
- ・実施直前での追加のご注文は、お届けが間に合わない場合があります。ご注意ください。

問題などのお届け

- 問題冊子
- 解答解説冊子
- 実施の手引き
- 英語スピーキングキット

※「最初に開けてください」シールの貼られた箱に、納品書記載部数から1セット抜き出し、封入しています。問題内容を確認される際にご利用ください。

● テストの事前指導について

テスト受験の意義を伝え、意識を高めさせることを目的とした「活用シート」をベネッセハイスクールオンラインからダウンロードいただけます。事前に生徒にお配りいただき、ぜひご利用ください。

ベネッセハイスクールオンライン 進研模試TOP画面>「教材」>「事前指導」をご確認ください。

実施

統一実施日 6/29(土)

- ・実施日を変更される場合は、お申込みWEB上で変更、または「お客様サービスセンター」までご連絡ください。
- ・実施日に欠席し、後日受験などの理由で全国集計に間に合わない場合も、既に集計されている全国集計に該当づけし、個人成績表をお返しします。答案の発送日によっては対応ができない場合もありますので、発送日について「お客様サービスセンター」までご連絡ください。
- ・答案等の発送は、原則、実施日翌日をお願いします。ご都合が悪い場合は、実施後2日以内（実施日翌日が日・祝日の場合は、翌々日または実施日3日以内）となるようお申し込み時にご指定ください。
- ・生徒様の答案は大切な個人情報であるため、弊社に答案が到着し、答案枚数が確認でき次第、メール、お申込みWEB上で答案到着枚数をご連絡します。メールの受信は、お申し込みいただく際に「メールを受信する先生」のご登録が必要です。

実施後

Benesse High School Online (<https://bhso.benesse.ne.jp>)

- 6/21(金) 自己採点シートリリース
- 8/14(水) 今回の集計結果をリリース予定

ご利用には学校ID／ログインコードまたは先生個人ID／パスワードが必要です。今回のテストを実施された学校のみ閲覧いただけます。閲覧開始日は、テスト実施日によって異なる場合があります。

FINE SYSTEM／Compass／マナビジョン

- 8/ 7(水) 成績データリリース

インターネットフォルダリリース 個人成績素点データ、教師用成績資料「ダイジェスト版」も掲載しています。

- 8/14(水) 教師用成績資料「詳細版」など

成績資料発送 お届けするデータ・資料の貴校到着は、日程より約3日後の予定です。テスト実施日によって、日程は異なる場合があります。

- 8/19(月) 教師用成績資料「ダイジェスト版」、データ活用BOOK、100%振り返りBOOK、個人成績表、採点済答案

お申し込み方法

申込締切日 5/31(金)

簡単!
WEBでのお申し込み

Benesse High School Online からご利用いただけます。

URL <https://bhso.benesse.ne.jp>

※お申し込みには、学校ID/ログインコード または 先生個人ID/パスワードが必要です。

上記がご不明な場合は、「WEBサポートデスク」0120-350124（通話料無料）までお問い合わせください。

★前年度や前回のお申し込み履歴がいつでも確認できます!

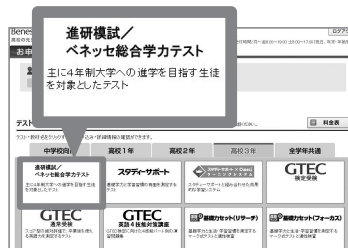
★年間分をまとめてお申し込みいただけます! ※Benesse High School Online
メンテナンス期間中は入力できません。

Benesse High School Online上の
「お申込み/請求書出力」をクリック

> お申込み/請求書出力



お申し込みいただく教材をクリック



必要情報を入力ください

※画面はすべてイメージです。実際のものとは異なる場合があります。

お電話でのお申し込み

●「お客様サービスセンター」へお電話ください。

0120-350455 (通話料無料)

受付時間/月～金 8:00～18:00

土 8:00～17:00

(祝日、年末・年始を除く)

ご送金方法

●同封の弊社指定の郵便振替用紙をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください（振込手数料弊社負担）。郵便振替用紙をご記入の際には、今回お申し込みになるテストの「学年」・「実施月」もお忘れなようご記入ください。

●郵便局がお渡しする振替払込請求書兼受領証は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。

●請求書に「ゆうちょ銀行振込の場合のお振込み先」を記載しております。

●請求書等は、Benesse High School Onlineよりダウンロードいただけます。

(硬貨101枚以上でお支払いされる場合にかかる硬貨取扱料金は貴校でご負担ください)

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1年7月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即した適切な漢字を書いたり読んだりすることができる。</u>	【設問数】3問(程度) 【出題形式】短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>文章の内容や、情報と情報の関係を的確に読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C B 読書くこと 読むこと 〔知識及び技能〕 〔思考力、判断力、表現力等〕	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>論の展開・構成を的確にとらえ、要旨や要点を読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C B 読むこと 書くこと 「知識及び技能」 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章から読み取った <u>要旨や要点を踏まえ、複数の文章や資料を関連付けながら推論したり、全体の構成や展開について評価したりしながら、考えをまとめることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C B 読むこと 書くこと 「知識及び技能」 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章に即して、 <u>語句の意味を正しく捉えることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式	〔知識及び技能〕 B 思考力、判断力、 読むこと、表現力等	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描か れている人物、情景、心情など を表現に即して読み取り、ま とめることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 記述式	C B 読むこと 書くこと （思考力、判断力、表現力等）	中学校学習指導要領 国語〔第3 学年〕 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫すること。 ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。 エ 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えること。 イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、<u>物語の展開や全体の主題を把握することができる</u>。また、<u>表現の意図や効果を理解し、評価したり、時代背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深めたりすることができる</u>。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	〔思考力、判断力、表現力等〕 B A 読むこと 書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、 <u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
古典の文章（古文）について、 <u>描かれている人物・情景・心情や物語の展開、または主張や要旨などを表現に即して読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式、記述式	B A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと、書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>表現の意図や効果を理解し、評価することができる。</u>また、<u>時代背景や他の作品と関連付けながら、解釈を深めること</u>ができる。	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	〔知識及び技能〕 A 書くこと B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物・情景・心情や物語の展開、または主張や要旨などを表現に即して読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式、記述式	〔思考力、判断力、表現力等〕 B A 読むこと、書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>表現の意図や効果を理解し、評価することができる</u>。また、<u>時代背景や他の作品と関連付けながら解釈を深めること</u>ができる。	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	〔知識及び技能〕 A 書くこと B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1年11月-1年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた <u>文章に即した適切 な漢字を書いたり読んだりす ることができる。</u>	【設問数】3問(程度) 【出題形式】短答式 サンプル問題 1	〔知識 及び 技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 〔知識及び技能〕 言語文化 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>文章の内容や、情報と情報の関係を的確に読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式 サンプル問題 1	C B 〔知識及び技能〕 読むこと、書くこと、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>論の展開・構成を的確にとらえ、要旨や要点を読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式 サンプル問題 1	C B 読書く読むこと 〔知識及び技能〕 思考力、判断力、表現力等	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章から読み取った <u>要旨や要点を踏まえ、複数の文章や資料を関連付けながら推論したり、全体の構成や展開について評価したりしながら、考えをまとめることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、 記述式 サンプル問題 1	C B 読むこと 書くこと 「知識及び技能」 「思考力、判断力、表現力等」	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章に即して、 <u>語句の意味を正しく捉えることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式	〔知識及び技能〕 B 思考力、判断力、表現力等	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 エ 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描か れている人物、情景、心情など を表現に即して読み取り、ま とめることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 記述式	（思考力、判断力、表現力等） B A 読むこと 書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや 味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開 や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に 的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容 を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、<u>物語の展開や全体の主題を把握することができる</u>。また、<u>表現の意図や効果を理解し、評価したり、時代背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深めたりすることができる</u>。	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 記述式	〔思考力、判断力、表現力等〕 B A 読むこと 書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、 <u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式 サンプル問題 2	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
古典の文章（古文）について、 <u>描かれている人物・情景・心情や物語の展開、または主張や要旨などを表現に即して読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式、記述式 サンプル問題 2	B A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと、書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>表現の意図や効果を理解し、評価することができる</u>。また、<u>時代背景や他の作品と関連付けながら、解釈を深めること</u>ができる。	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、 記述式 サンプル問題 2	〔知識及び技能〕 A 書くこと B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 オ 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、 <u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式	〔知識及び技能〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。
古典の文章（漢文）について、 <u>描かれている人物・情景・心情や物語の展開、または主張や要旨などを表現に即して読み取り、まとめることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、 短答式、記述式	B A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと、書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>表現の意図や効果を理解し、評価することができる。</u>また、<u>時代背景や他の作品と関連付けながら解釈を深めること</u>ができる。	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	〔知識及び技能〕 A 書くこと B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 2年7月-2年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章（論理的な文章）に即した適切な漢字を書いたり読んだりすることができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】短答式	〔知識及び技能〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>文章の内容を的確に読み取ることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C 読むこと B 書くこと 〔知識及び技能、思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章について、 <u>論の展開・構成を的確にとらえ、筆者の主張やその主張の根拠をとらえることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C 読むこと B 書くこと 〔知識及び技能、思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章及び実用的な文章から読み取った <u>筆者の主張</u> や <u>文章全体の主旨</u> を基に、 <u>情報を整理したり、考えをまとめたりすることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	C 読むこと B 書くこと 〔知識及び技能、思考力、判断力、表現力等〕	現代の国語 〔知識及び技能〕 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 エ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた文章（文学的な文章）に即して、 <u>語句の意味を正しくとらえることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式、短答式	〔知識及び技能〕 B 読むこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	B 読むこと A 書くこと 〔思考力、判断力、表現力等〕	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章について、 <u>表現に即して読み取った情景や心情などを踏まえ、文章の主題を把握したり、表現の意図や効果を理解したりすることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	B A〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと 書くこと	言語文化 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）を読むにあたり、<u>必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）</u>や、<u>基礎的な古語・古典常識を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、短答式	〔知識及び技能〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、短答式、記述式	A〔思考力，判断力，表現力等〕 読むこと	古典探究 〔思考力，判断力，表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、<u>文章の内容を要約することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと	古典探究 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）を読むにあたり、<u>必要な訓読の決まりや、基礎的な語句・句形を理解することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】選択式、短答式	〔知識及び技能〕	古典探究 〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めること。 ウ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、<u>描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる。</u>	【設問数】3 問（程度） 【出題形式】選択式、短答式、記述式	A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと	古典探究 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、 <u>文章の内容を要約することができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式、記述式	A 〔思考力、判断力、表現力等〕 読むこと	古典探究 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えること。 イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えること。 ウ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 エ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 1年7月

(複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載 ※選択科目の受検なし)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>因数分解の公式を用いて簡単な式の因数分解をすることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ウ 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
乗法公式を用いた式の展開を することができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第3学年〕 2 A (2) 簡単な多項式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>正の数の平方根の四則演算を することができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 短答式	A 数と式 (1) 数と式	中学校指導要領 数学〔第 3 学年〕 2 A (1) 正の数の平方根について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
不等式の性質をふまえ、連立不等式の解を求めることができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。
絶対値を含む不等式を解くことができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>分母の有理化を行い，展開の公式を利用して無理数の四則演算を行うことができる。</u>	【設問数】 1 問（程度） 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ｳ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
<u>無理数の評価を行い，与えられた無理数を含む式の値を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
日常的な事象において、一次方程式を解いて、条件を満たすような変数の値を求めることができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (3) 一元一次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 簡単な一元一次方程式を解くこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 等式の性質を基にして、一元一次方程式を解く方法を考察し表現すること。 (イ) 一元一次方程式を具体的な場面で活用すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>日常的な事象において、変数の値の範囲や、その範囲内にある整数の値を求めて、課題解決をすることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>二次関数の平方完成を行い、頂点の座標を求めることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること
<u>与えられた二次関数について、定義域とグラフの軸の位置関係を考察し、二次関数の最小値や最大値を求めることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 1年11月-1年1月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>因数分解の公式を用いて簡単な式の因数分解</u> をすることができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 ウ 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>乗法公式を用いた式の展開と、無理数を含む式の計算</u> をすることができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。
<u>不等式の性質をふまえ、簡単な一次不等式の解を求める</u> ことができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>否定の概念を理解し、与えられた条件の否定を正しく選択することができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (f) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。
<u>与えられた条件から x と y の関係を $y=ax^2+bx+c$ の式に表すことができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (f) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>分母の有理化を行い，因数分解の公式を利用して無理数の四則演算を行うことができる。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について，数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 数を実数まで拡張する意義を理解し，簡単な無理数の四則計算をすること。 (ｳ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>集合の概念を理解し、数直線を用いて条件を満たす集合の要素を求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (f) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (i) 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 (e) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (f) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 (i) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>二次関数の係数からグラフの特徴をとらえることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】選択式あるいは記述式 サンプル問題 1 (i)	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること (ｳ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について与えられた条件を満たすための式を作り，処理することができ</u> <u>る。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式あるいは記述式 サンプル問題 1 (ii)(iii)	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について，数学的活動を通して，その有用性を認識するとともに，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ｲ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また，二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し，二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。 (ｱ) 二次関数の式とグラフとの関係について，コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
図形と計量で学習する定理や公式を用いて、三角形の角の余弦や正弦の値、外接円の半径を求めることができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題 2(1)(2)	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (ロ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
図形的な条件の考察から、三角形の面積、線分の長さを求めることができる。	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式 サンプル問題 2 (3)	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】記述式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。” ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。
<u>事象を考察する際に順列と組合せについて理解し、事象をもれなく数え上げることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	(2) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解すること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 2年7月-2年1月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>分母の有理化を行い、展開の公式を利用して無理数の四則演算を行うことができる。</u>	【設問数】2問 (程度) 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 (ウ) 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 (イ) 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>二次関数の平方完成を行い、頂点の座標の条件から定数の値を求めることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】短答式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (イ) 二次関数の最大値や最小値を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。
<u>二次不等式の性質をふまえ、簡単な二次不等式の解を求めることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】短答式	(3) 二次関数	数学 I (3) 二次関数 二次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
絶対値を含む不等式を解き、 <u>二つの不等式をともに満たす整数の値を求めることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 数と式	数学 I (1) 数と式 数と式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ウ) 不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察すること。 (エ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。
<u>与えられた条件を満たす場合の数について、順列の考えを用いて数えあげることができる。</u>	【設問数】2問（程度） 【出題形式】短答式	(1) 場合の数と確率	数学 A (2) 場合の数と確率 場合の数と確率について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>与えられた箱ひげ図やヒストグラム、散布図などから読み取れることを適切に読み取ることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】短答式	(4) データの分析	数学 I (4) データの分析 データの分析について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。
<u>図形と計量で学習する定理や公式を用いて、三角形の辺の長さや、角の正弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	(2) 図形と計量	数学 I (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>図形的な条件を考察し、図形と計量で学習する定理や公式を用いて、三角形の辺の長さや、角の余弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	(2) 図形と計量	数学Ⅰ (2) 図形と計量 図形と計量について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 (イ) 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 (ウ) 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。
<u>剰余の定理を用いて、整式に含まれる文字定数の関係式を導くことができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】記述式	(1) いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (オ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>いろいろな式で学習する定理や公式を用いて、高次方程式の虚数解とその関係を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	(1) いろいろな式	数学Ⅱ (1) いろいろな式 いろいろな式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 (エ) 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (フ) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>円の方程式や直線の方程式の性質を理解し、与えられた条件から円の方程式や座標平面上の点の座標を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 (ｲ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ｱ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>図形的な条件の考察から、座標平面上の面積の最大値を求めることができる。</u>	【設問数】1 問（程度） 【出題形式】記述式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ (2) 図形と方程式 図形と方程式について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 (ｲ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ｱ) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。
<u>弧度法で表された角の正接の値を求め、与えられた関数を正接の二次関数として捉え、その最小値を求めることができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】記述式	(4) 三角関数	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ｱ) 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 (ｲ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ｳ) 三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>正接の 2 倍角の公式を利用して、与えられた条件を満たす角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式	(4) 三角関数	数学Ⅱ (4) 三角関数 三角関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (エ) 三角関数の加法定理や 2 倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 1年7月-1年1月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話を聞いて、その <u>場面や状況、会話の流れなどを推測</u> することができる。	【設問数】8問（程度） 【出題形式】 選択式 8問 ※リスニング サンプル問題 1 (A) 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 英語コミュニケーション I 6問 【CEFR】A1~A2 程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、自然な口調で話される英語を聞いて、話し手の意向を正確に把握する活動。 (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動。 (ウ) 友達からの招待など、身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて、その内容を把握し、適切に応答する活動。 (エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動。 英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ある程度まとまりのある文章を聞いて得た<u>情報を簡潔に英語でまとめることができる。</u>	【設問数】1問（程度） 【出題形式】 記述式 ※リスニング サンプル問題 1 (B) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1問 【CEFR】A1~A2 程度	聞くこと・書くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・文レベルで、 <u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することが</u> できる。	【設問数】 6問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 英語コミュニケーションⅠ 3問 【CEFR】 A1~A2程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。 ① カ 書くこと (ア) 趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。 英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・正しい文法・語彙・語法知識から、与えられた <u>英文の意味をとり、再構築する</u> ことができる。	【設問数】3問（程度） 【出題形式】 選択式（整序） 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3問 【CEFR】A1~A2程度		語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文や物 語文などを読んで、 <u>テーマや 概要をとらえることができる。</u>	【設問数】 6 問 (程度) 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2 (問 2・問 4・問 5) 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 6 問 【CEFR】 A1~A2 程度	読むこと・書くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ウ) 簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで概要を把握する活動。 (エ) 簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、要点を把握する活動。また、その内容に対する賛否や自分の考えを述べる活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ある程度まとまりのある文章を読んで得た<u>情報を簡潔に英語や日本語でまとめる</u>ことができる。	【設問数】6問(程度) 【出題形式】 短答式、記述式 サンプル問題2(問1・問3・問6) 【出題数の割合】 英語コミュニケーションI 6問 【CEFR】A1~A2程度		英語コミュニケーションI 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ある程度まとまりのある会話や文章の内容を理解し、英語でその内容を表現することができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2 問 【CEFR】 A1~A2 程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
・与えられた図表などの情報を正しく読み取り、英語で描写したり意見を書くことができる。	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 3 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問 【CEFR】 A1~A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・身近な話題に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと[やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。
・身近な話題に関する英文を、発音や抑揚に注意して読みあげ、聞き手に伝わるように「発表」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		① オ 話すこと[発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。
・図や表について、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング サンプル問題4 【出題数の割合】 コミュニケーション英語Ⅰ 1問 【CEFR】A1～2程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・<u>図や表に関する問いに即座に応じて、「やり取り」することができる</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 1 問 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 2年7月-2年1月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話や説明文を聞いて、その <u>場面や状況、会話の流れや内容などを聞き取る</u> ことができる。	【設問数】7問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 7問 【CEFR】A1~A2程度	聞くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・ある程度まとまりのある文章を聞いて理解し、得た<u>情報を簡潔に英語でまとめる</u>ことができる。	【設問数】2問（程度） 【出題形式】 選択式，記述式 ※リスニング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 2問 【CEFR】A1~A2程度	聞くこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や放送などから必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について，話される速さが調整されたり，基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら，対話や説明などから必要な情報を聞き取り，概要や要点を把握する活動。また，聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・文レベルで、 <u>文法や語彙語法</u> <u>を正しく理解して使用するこ</u> <u>とができる。</u>	【設問数】 5 問 (程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 4 問 英語コミュニケーション II 1 問 【CEFR】 A1~A2 程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ ある程度のまとまりのある英文を読んで、<u>つながりの言葉や文脈に合わせた語彙をつかう</u>ことができる。	【設問数】4 問（程度） 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 3 問 英語コミュニケーションⅡ 1 問 【CEFR】A1~A2 程度		英語コミュニケーションⅡ 2 内容 ① ウ 読むこと (ア) 日常的な話題について、必要に応じて、別の語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを聞いたり読んだりしながら、新聞記事や広告などから必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を基に考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 学校外での生活や地域社会などの日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを明確な理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ 正しい文法・語彙・語法知識から、 <u>与えられた英文の意味をとり、再構築することができる。</u>	【設問数】2 問（程度） 【出題形式】 選択式（整序） 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1 問 英語コミュニケーションⅡ 1 問 【CEFR】A1~A2 程度		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・まとまりのある説明文や物語文などを読んで、<u>テーマ</u>、<u>文脈</u>、<u>内容をとらえる</u>ことができる。	【設問数】6問（程度） 【出題形式】 選択式，記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 6問 【CEFR】A1～A2程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について，基本的な語句や文での言い換えや，書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら，説明文や論証文などから必要な情報を読み取り，概要や要点を把握する活動。また，読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ ある程度まとまりのある文章を読んで得た情報を簡潔に英語や日本語でまとめることができる。	【設問数】 6 問 (程度) 【出題形式】 選択式, 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 6 問 【CEFR】 A1~A2 程度		
・ ある程度まとまりのある会話や文章の内容を理解し, <u>英語でその内容を表現することができる。</u>	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 2 問 【CEFR】 A1~A2 程度	読むこと・書くこと	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について, 使用する語句や文, 文章例が十分に示されたり, 準備のための多くの時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>ある程度まとまりのある文章や会話, 与えられた図表やイラストなどの情報を正しく読み取り, 英語で描写したりそれについて意見を述べたりすることができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅡ 1 問 【CEFR】 A1~A2 程度		(イ) 社会的な話題について, 使用する語句や文, 文章例が十分に示されたり, 準備のための多くの時間が確保されたりする状況で, 対話や説明などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。 コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① (ア) 関心のある事柄や学校生活などの日常的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について, 必要に応じて, 使用する語句や文, 文章例が示されたり, 準備のための一定の時間が確保されたりする状況で, 説明や討論などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに複数の段落を用いて詳しく書いて伝える活動。また, 書いた内容を読み合い, 質疑応答をしたり, 意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>身近な話題に関する問いに</u> 即座に応じて、「やり取り」する ことができる	【設問数】4問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず	話 す こ と	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その 場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互い に会話を継続する活動。 (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、 自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え 合う活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把 握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考え たことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に 応答したり自ら質問し返したりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭 で説明する活動。 (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなど をまとめ、簡単なスピーチをする活動。 (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把 握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しな がら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話した りする活動。
・ <u>身近な話題に関する英文を、</u> 発音や抑揚に注意して読みあ げ、聞き手に伝わるように「 <u>発 表</u> 」することができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 【CEFR】A1程度 ※スピーキング試験は実施せず		
・ <u>図や表について、聞き手にそ の内容が伝わるように「発表」 する</u> ことができる	【設問数】1問(程度) 【出題形式】スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーションⅠ 1問 【CEFR】A1～2程度 ※スピーキング試験は実施せず		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域 又は 事項	科目名及び内容
・ <u>図や表に関する問いに即座に</u> 応じて、 <u>「やり取り」</u> することができる	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 英語コミュニケーション I 1 問 【CEFR】 A1～2 程度 ※スピーキング試験は実施せず		英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① エ 話すこと [やり取り] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。 ① オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1年11月-1年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	現代の国語																														
出題のポイント	論理的な文章について、文章に即した適切な漢字を書く力、各部分の内容を読み取り、論の構成を踏まえて要旨や要点を把握する力、図表等の資料と関連付けながら推論し、考えをまとめる力を測定する。																														
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五(i)</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五(ii)</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一	○		問二	○	○	問三		○	問四		○	問五(i)		○	問五(ii)	○	○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																													
問一	○																														
問二	○	○																													
問三		○																													
問四		○																													
問五(i)		○																													
問五(ii)	○	○																													
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五(i)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五(ii)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一		○		問二			○	問三	○			問四	○			問五(i)			○	問五(ii)	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																												
問一		○																													
問二			○																												
問三	○																														
問四	○																														
問五(i)			○																												
問五(ii)	○																														

「自然」という言葉は中国の「漢」の時代以降に日本へ伝来し、明治以後は nature の翻訳語として使われるようになった。次の【文章】で、著者は古くからの日本語の自然を「自然 O」、明治以降の新しい日本語の自然を「自然 N」（O は old、N は new と nature の略）と表記している。これを読んで、後の問いに答えよ。（配点 三〇）

宇根豊『日本人にとって自然とは何か』の一部を掲載

問二 傍線部(ア)とあるが、この場合の「自然」とはどういう意味で使われているのか。三十五字以内で説明せよ。

【下書き用】

[illegible]

- 1 従来の人と自然を融合した使い方ではなく、人間を完全に排除し客観的に対象化した自然として見ている
- 2 人間を排除しない自然の自然なあり方を指して、自然Nと自然Oを融合した自然として見ている。
- 3 自然Nと自然Oを分離した nature の訳語で、明治以後に定着した科学的な自然として見ている。
- 4 人間が身居る自然環境の科学的なあり方を指して、自然Nと自然Oを融合した自然として見ている。

問四 日本人の自然観の説明として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 日本人の自然観は、近代にいたって西洋の影響を強く受けたものの、いまだに近代以前の自然観を重視したものとなっており、自然の内側からの視点を尊重し続けている。

2 日本人の自然観は、近代以前から人間と自然を厳然と区別し、自然を外側からの視点で捉える西洋と共通のものの見方によって貫かれ、近代以前も近代以後も大きくは変わっていないと見るべきである。

3 日本人の自然観は、近代以前の自然を内側から見ることを主流とするものから、近代以後の西洋の影響による自然科学的なとらえ方を主流とするものへと変わりつつあるが、近代以前の自然観は今なお色濃く残っている。

4 日本人の自然観は、近代以前は私たちの身の回りにいる自然に生きている生きものたちとともにあり、近代西洋の科学的な自然観に劣るものではなかったが、近代以後は自然を外側から見る視点ですっかり西洋化を遂げている。

問五 次に示す【資料】は本文とともに宇根豊『日本人にとって自然とはなにか』に示されているものである。これを読んで、後の問い(i)・(ii)に答えよ。(なお、「百姓」という言葉は、「農家」の意味で、誇り高い呼称として著者が用いている。)

【資料】 現代の日本人の自然観

宇根豊『日本人にとって自然とは何か』に収められている調査結果を掲載。

(日本人の「自然」概念の理解に関する二種の調査の結果が、図や表を用いてまとめられたもの)

(i) 次に掲げるのは、本文を学習した生徒たちが【資料】について（授業で）話し合っている場面である。話し合いの途中の空欄に入る内容を五十文字以内で答えよ。なお、解答に【質問A】【質問B】という表現を用いる場合は【 】をつけずに使用するこつ。

生徒A 【資料】の【質問A】と【質問B】を同じ人たちが回答しているのなら、一見すると矛盾した回答をしている人がいるように思えるんだけど……。

生徒B それはどんな回答をした人たちについて言っているの？

生徒A【質問A】で「賛成」と答えた人で、【質問B】のQ3で[1]を選んだ人のことだけど……。

生徒C どうしてそう思ったの？

生徒A これらの人たちは
ことになるので、自然に対する捉え方が矛盾しているように思えたんだ。

生徒C　なるほど、そういうことね。でも、それは本文の著者が考える「日本人の自然観」では矛盾にはならないと思うよ。

まさしく著者が本文で述べている「自然N&O」の捉え方なのではないかな。

【下書き用】

[illegible]

(ii) 【質問B】の(Q1)の「百姓」と「非農家」の田んぼのイメージに関する結果から読み取れる傾向をもとに推測される内容

容として最も適当なものを、次の1～4のうちから一つ選び、番号で答えよ。

1 百姓は日常的に田んぼでの農作業を通じて昆虫や生きものの減少を感じ取っているのに対して、非農家の人々は田んぼとの直接的接触を持たず生産物をもたらすものとして享受している。

2 百姓は化学肥料や農薬の使用などを通じて自然に人工的な要素が加えられているのを知っているのに対して、非農家の人々は里山や田んぼを含む自然を単に外側から見て価値ある自然の風景と捉えている。

3 百姓は戦後農業の機械化や区画整理などを通じてあるがままの自然が変化したのを知っているが、非農家の人々は田んぼの景色を目を楽しませてくれるものとしか受けとめていない。

4 百姓は田んぼを内からのまなざしで人間を含む天地として捉えているのに対して、非農家の人々は田んぼに生活の基盤がなく昔から外部にある田園風景として懐かしんでいる。

解答例	問一 ① 含意 ② 魅力 ③ 偉大 問二 純粋な自然環境という意味ではなく、人間も含むものとして見ている。(32字) 解答のポイント 自然とは「人間を含む自然」であるという内容と、「純粋な(単なる)自然環境」「対象化された自然」「科学的な意味での自然」だけではないという点が書けていること。 問三 2 問四 3 問五(i) 質問Aでは人間も自然の一員であると考えているのに、質問Bでは自然を人間から切り離して対象化している(49字) 解答のポイント 「質問Aでは人間も自然の一員であると考えている」のに、「質問Bでは自然を人間から切り離して対象化している」といった内容が書けていること。 (ii) 2
(参考)学習指導要領 の関連項目	〔知識及び技能〕 (1) 言葉の特徴や使い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 (2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。 ウ 推論の仕方を理解し使うこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ウ 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。 C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：ベネッセ総合学力テスト 1年11月-1年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	言語文化																															
出題のポイント	古典の文章（古文）について、文語の決まりや基礎的な古語・古典常識を理解する力、描かれている人物・情景・心情や、文章の展開・主題などを読み取る力、表現の意図や効果を理解する力、複数のテキストを関連付けながら解釈を深める力を測定する。																															
主として問う能力	<table><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td>○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	問一	○		問二	○		問三		○	問四		○	問五		○	問六	○	○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																														
問一	○																															
問二	○																															
問三		○																														
問四		○																														
問五		○																														
問六	○	○																														
出題形式	<table><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問六</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三			○	問四			○	問五	○			問六			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																													
問一	○																															
問二	○																															
問三			○																													
問四			○																													
問五	○																															
問六			○																													

三

次のⅠ・Ⅱの文章は、ともに『十訓抄』の一節である。『十訓抄』は十の徳目を掲げて編纂された鎌倉時代の説話集である。
Ⅰは第三条の序文、Ⅱはその例話である。これらを読んで、後の問いに答えよ。(配点 三〇)

Ⅰ

ある人はいく、人を侮^{あや}めることは、色かはれども、必ずあることなり。
あるいは貧しくいやしきをも侮^(注1)める。あるいは不覚なるをも侮^(注1)める。下がりざまなるをも侮^(注1)りて、すること、いふことをも、さばかりにこそと思へり。あるいは親しみ、睦^{もち}るをも侮^(注1)り、おほかた不運なるものをば、所行、ことがら、よからぬやうに思ひ、いやしきものは振る舞ひごと、いたづらごとと思へり。^(a)これは無智^{むち}の人のあることなり。
これによりて、いふまじきことをもいひ、すまじきわざをも振る舞ふほどに、^(b)あなづる葛^{かづ}に倒れして、^(ア)思はざるほかのはぢ^(注2)がましきことにもあひ、いはるまじきものにもいはれぬれば、人に軽^{かろ}く思ひけがされ、心劣^{こせ}りせらるるなり。

Ⅱ

村上天皇^(注3)、ひそかにいやしき官人^{つゐびと}の、年老いたるを召して、「延喜^(注4)の先朝と当世と、いかなるかはりめかある」と問はせ給ひければ、^(イ)「おそれおぼえけるにや、」さらにかはること侍らず^(ハ)と、いみじくかしこまりたりければ、おぼしめす旨ありて御尋ねあるなり、あらむほどのこと、たしかに申すべき由、しきりに仰^{おほ}せ下されければ、その時、「なにごとめでたし。さらにけぢめ思ひわかず侍るに、当世は除目^(注5)おこなはるるに、統松^(注6)のいささか入り増さるやうにぞおぼえ侍る」^(ウ)と申したりければ、いみじく御感^{かん}ありけり。

さて、司召^{すさめ}のことをば、かねてよくおぼしめしだめられけり。^(B)

(注) 1 不覚なる——思慮の浅い者。

2 はぢがましきこと——恥ずかしい目。

3 村上天皇——第六十二代天皇(在位九四六～九六七年)。

4 延喜の先朝——村上天皇の父である醍醐天皇の治世。後世の人々から、すばらしい治世であったと言われていた。

5 除目——大臣以外の官吏の任命式。後にある「司召」は、中央官吏の任命式である「司召し除目」のこと。

6 統松——松明。

サンプル問題

号で答えよ。

4	3	2	1
頼りないこと	関係ないこと	ふざけたこと	無意味なこと

で答えよ。

1
自発

「さる」という当時のことわざを踏まえた表現であるが、ここではどのようなことを表しているか。三十文字以内で説明せよ。

【下書き用】

30

傍線部(イ)を現代語訳せよ。

解答例	問一 a 1 b 3 問二 A 2 B 3 問三 他人を侮っていると、思いがけない失敗をするということ。(27字) 解答のポイント 「他人を侮っていると」、「思いがけない失敗をする」などと説明できていること。 問四 恐れ多いことと思われたのであろうか 解答のポイント 「恐れ多いことと思われたので」＋「あろうか」と疑問の意で訳出していること。 問五 4 問六 身分が低いことを理由に他人を侮ることのない立派な人物。(27字) 解答のポイント 村上天皇が「身分が低いことを理由に」、「他人を侮ることのない立派な人物」であったということが説明できていること。
(参考)学習指導要領 の関連項目	〔知識及び技能〕 (2) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ウ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 エ 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。 イ 自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。 B 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 イ 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ウ 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 エ 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。

サンプル問題について

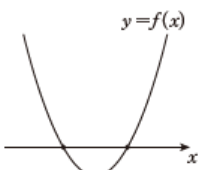
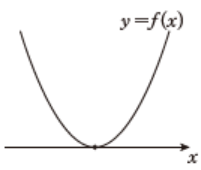
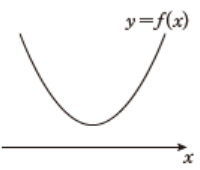
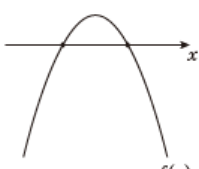
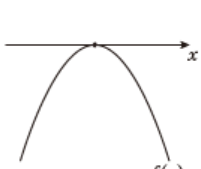
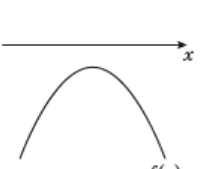
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

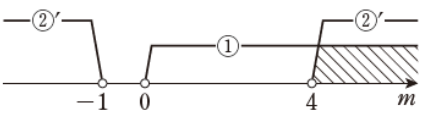
測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月-1 年 1 月

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	数学 I																
出題のポイント	二次不等式に関する命題が成り立つ状況を、二次関数の係数とグラフの関係から考察する。 答えを求める過程における数学的表現力や条件を導く力を測定する。																
主として問う能力	<table border="1"> <tr> <th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr> <tr> <td>(i)</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>(ii)</td><td>○</td><td></td></tr> <tr> <td>(iii)</td><td></td><td>○</td></tr> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(i)	○		(ii)	○		(iii)		○				
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等															
(i)	○																
(ii)	○																
(iii)		○															
出題形式	<table border="1"> <tr> <th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr> <tr> <td>(i)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(ii)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>(iii)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(i)	○			(ii)	○			(iii)			○
小問番号	選択式	短答式	記述式														
(i)	○																
(ii)	○																
(iii)			○														
サンプル問題	2 [1] a, b, c は定数で、$a \neq 0$ とする。 「2 次不等式 $ax^2+bx+c>0$ の解がすべての実数である」……(※) が成り立つような a, b, c の条件を考える。 (i) $f(x)=ax^2+bx+c$ とする。(※) が成り立つのは、2 次関数 $y=f(x)$ のグラフと x 軸の位置関係がどのようになるときであるか。正しく表している図を、下の 1～6 のうちから 1 つ選べ。 1  2  3  4  5  6  (ii) 2 次方程式 $ax^2+bx+c=0$ の判別式を D とする。(※) が成り立つ条件を正しく表しているものを、下の 1～6 のうちから 1 つ選べ。 1 $a < 0$ かつ $D < 0$ 2 $a < 0$ かつ $D = 0$ 3 $a < 0$ かつ $D > 0$ 4 $a > 0$ かつ $D < 0$ 5 $a > 0$ かつ $D = 0$ 6 $a > 0$ かつ $D > 0$ (iii) m は定数で、$m \neq 0$ とする。2 次不等式 $mx^2-4x+m-3>0$ の解がすべての実数であるような m の値の範囲を求めよ。 (配点 10)																

解答例	2 [1] 2次関数 (10点) 10点 (i) 2次不等式 $ax^2+bx+c>0$ の解がすべての実数であるのは、$y=f(x)$のグラフが x 軸より上方にあるときである。 よって、正しく表している図は、3である。……………(答)2点 (ii) $y=f(x)$ のグラフと x 軸の位置関係が(i)の3のようになる、すなわち、下に凸で、かつ、x 軸と共有点をもたないための条件を求めればよい。 その条件は、$a>0$ かつ $D<0$ (4) ……………(答)2点 (iii) 2次方程式 $mx^2-4x+m-3=0$ の判別式を D' とする。 (ii)の結果から、2次不等式 $mx^2-4x+m-3>0$ の解がすべての実数であるための条件は $m>0$ ……………① …… 2点 かつ $\frac{D'}{4}=(-2)^2-m(m-3)<0$ ……………② ②より $m^2-3m-4>0$ $(m+1)(m-4)>0$ $m<-1, 4<m$ ……………②' …… 2点  ①, ②' より $m>4$ ……………(答)2点
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	数学 I (3) 2次関数 2次関数について、数学的活動を通して、その有用性を認識するとともに、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (イ) 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ロ) 2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解すること。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めること。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ総合学力テスト 1 年 11 月-1 年 1 月

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	数学 I																			
出題のポイント	余弦定理など図形と計量で学習する定理や公式を利用して、図形的な条件の考察から図形の角度の大きさと線分の長さの値を求める力を測定する。																			
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>(1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>(3)</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		(1)	○			(2)	○			(3)		○	
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																		
(1)	○																			
(2)	○																			
(3)		○																		
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>(1)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>(2)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>(3)</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)			○	(2)			○	(3)			○
小問番号	選択式	短答式	記述式																	
(1)			○																	
(2)			○																	
(3)			○																	
サンプル問題	4 AB = AC = 5, BC = 8 の △ABC がある。 (1) cos B の値を求めよ。 (2) 辺 BC 上に BD = 3 となる点 D をとる。線分 AD の長さを求めよ。また、△ADC の外接円 K の半径を求めよ。 (3) (2) のとき、円 K の中心を O とする。直線 DO と円 K の交点のうち、D でない方の点を P とし、直線 DO と辺 AC の交点を Q とする。このとき、△DCP の面積を求めよ。また、線分 CQ の長さを求めよ。 (配点 20)																			
解答例	4 図形と計量 (20 点) (1) 5 点 (2) 7 点 (3) 8 点 (1) △ABC において、余弦定理により $\cos B = \frac{5^2 + 8^2 - 5^2}{2 \cdot 5 \cdot 8} \dots\dots\dots 3 \text{ 点}$$= \frac{4}{5} \dots\dots\dots (\text{答}) 2 \text{ 点}$ [別解] △ABC は AB = AC の二等辺三角形であるから、辺 BC の中点を M とすると BM = CM = 4 △ABM は直角三角形であるから、△ABM において $\cos B = \frac{BM}{AB} = \frac{4}{5} \dots\dots\dots (\text{答}) 5 \text{ 点}$ (2) △ABD において、余弦定理により $AD^2 = 5^2 + 3^2 - 2 \cdot 5 \cdot 3 \cos B$$= 25 + 9 - 30 \cdot \frac{4}{5}$$= 10$ $AD > 0$ より $AD = \sqrt{10} \dots\dots\dots (\text{答}) 3 \text{ 点}$ △ABC は、AB = AC の二等辺三角形であるから ∠B = ∠C よって $\cos C = \frac{4}{5}$ $\sin^2 C + \cos^2 C = 1$ より $\sin^2 C = 1 - \left(\frac{4}{5}\right)^2$$= \frac{9}{25}$ $0^\circ < C < 90^\circ$ より $\sin C > 0$ であるから																			

サンプル問題について

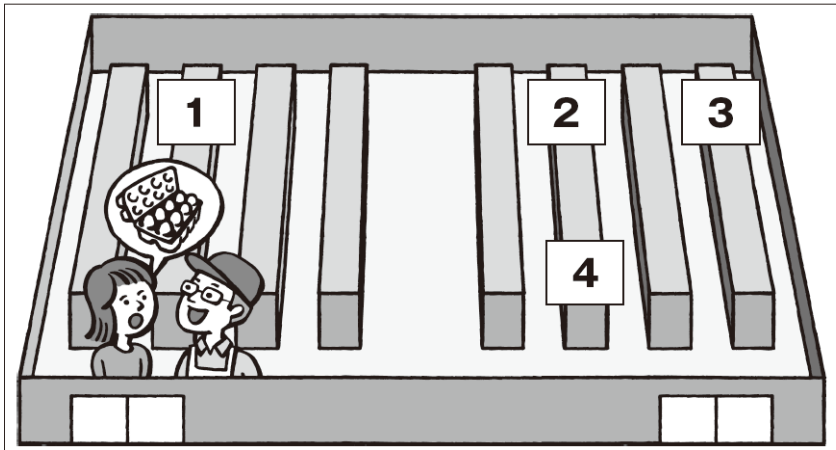
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ 総合学力テスト 1年7月-1年1月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	英語コミュニケーション I																							
出題のポイント	さまざまな場面を想定した聞き取りができるか、必要なポイントを取捨選択して英語でまとめられるかどうかを測定する。																							
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>A (1)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>A (2)</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		A (1)	○			A (2)	○			B		○					
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
A (1)	○																							
A (2)	○																							
B		○																						
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>A (1)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>A (2)</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	A (1)	○			A (2)	○			B			○				
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
A (1)	○																							
A (2)	○																							
B			○																					
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>A (1)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>A (2)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>B</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	A (1)	○				A (2)	○				B	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
A (1)	○																							
A (2)	○																							
B	○																							
サンプル問題	A 次に放送される二人の人物による会話を聞いて、それに関する質問の答えとして最も適当なものを、下の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えよ。なお、会話とそれに関する質問は二回ずつ読まれる。 (1)  (2) <table><tr><td>1 Richard and Taro.</td><td>2 Sally and Dean.</td></tr><tr><td>3 Sally and Taro.</td><td>4 Taro and Dean</td></tr></table>				1 Richard and Taro.	2 Sally and Dean.	3 Sally and Taro.	4 Taro and Dean																
1 Richard and Taro.	2 Sally and Dean.																							
3 Sally and Taro.	4 Taro and Dean																							

	B 次に放送される英文を聞いて、その要旨をまとめた文になるように、下の英文の空所に5語以上の英語を入れよ。なお、英文は二回読まれる。 We should () and go to Green Stadium at 8:00 a.m. 【放送文】 A (1) Man: May I help you? Woman: Yes, where the eggs? Man: They are on the other side of the supermarket. Woman: I see. And which row should I go to? Man: The eggs are on the third row from that end and you should go to the end of that row. Woman: Thank you very much. Question Where are the eggs ? (2) Woman : Richard, how can we make some money for our tennis club ? Man : How about giving tennis lessons ? Woman : Good idea, but I'm not good enough to do that. Maybe Sally could. Let's ask her. Man : We could ask Taro to help as well. Woman : He's very busy with work, so let's ask Dean instead. Question Who will be asked to give tennis lessons ? B Tomorrow is our field day, so I hope everyone is looking forward to doing some sports! There are a few things that you need to remember. First, you must remember to bring things for sports, like shorts and shoes, or you can't participate. Second, you will need to bring something from home to eat for lunch. Finally, you should come to Green Stadium at 8:00 a.m.
解答例	A (1) 2 (2) 2 B We should (bring things for sports and lunch) and go to Green Stadium at 8:00 a.m. A では場所や話題に出てくる人物を正確に聞き取ることがポイント。B ではキーワードを聞きとって簡潔にまとめるところがポイント。
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① イ 聞くこと (ア) 日常的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 (イ) 社会的な話題について、話される速さが調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

	① カ 書くこと (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。 (イ) 社会的な話題について，使用する語句や文，文章例が十分に示されたり，準備のための多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:ベネッセ 総合学力テスト 1年7月-1年1月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	英語コミュニケーション I																																						
出題のポイント	ある程度の長さの論説・説明文を読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。																																						
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="2">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr><tr><td>問 4</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問 5</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>問 6</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問 1		○		問 2	○			問 3		○		問 4	○			問 5	○			問 6		○								
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																																					
問 1		○																																					
問 2	○																																						
問 3		○																																					
問 4	○																																						
問 5	○																																						
問 6		○																																					
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 5</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 6</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	問 1			○	問 2	○			問 3		○		問 4	○			問 5	○			問 6			○							
小問番号	選択式	短答式	記述式																																				
問 1			○																																				
問 2	○																																						
問 3		○																																					
問 4	○																																						
問 5	○																																						
問 6			○																																				
主として問う技能 (英語のみ)	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>問 1</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 2</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 3</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 4</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 5</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問 6</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	問 1		○			問 2		○			問 3		○			問 4		○			問 5		○			問 6		○		
小問番号	聞く	読む	話す	書く																																			
問 1		○																																					
問 2		○																																					
問 3		○																																					
問 4		○																																					
問 5		○																																					
問 6		○																																					

サンプル
問題

次の英文を読んで、あとの問いに答えよ。

【文章】

“How Technology Shook Up the Music Industry” by Rob Jordens & Jeff Zeter
from READING The WORLD NOW 1, Compass Publishing.

の一部を掲載

問1 次の Question に対する Answer となるように、空所に当てはまる適当な英語を補え。

Question : What message do you get when people wear earphones ?

Answer : We get the message that ().

問2 本文中の空所 (ア) に入れるのに最も適当なものを、次の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 recording
- 2 sleeping
- 3 talking
- 4 waking

問3 第3パラグラフ (Advances in technology ...) の内容を次のようにまとめたい。空所 (①) ・ (②) に当てはまる適当な日本語を補え。

ラジオで気に入った曲を見つけた人は、かつては (①)
して家に持ち帰って聴いた。当時、人々は (②) が同じ
であることで相互につながることができた。

問4 本文中の空所 (イ) に入れるのに最も適当なものを、次の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えよ。

- 1 different
- 2 familiar
- 3 similar
- 4 strange

問5 本文中の空所 (ウ) に入れるのに最も適当なものを、次の 1～4 のうちから一つ選び、番号で答えよ。

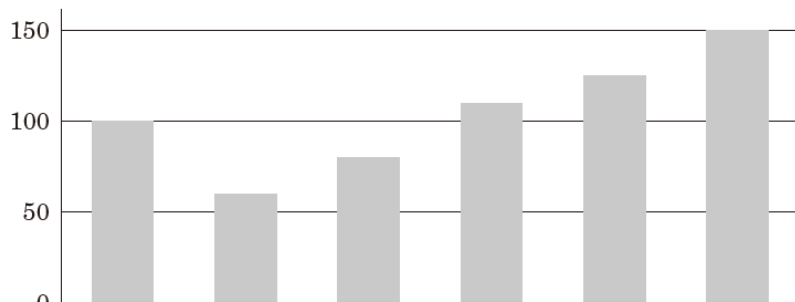
- 1 People also buy albums from music stores as well as music on the Internet.
- 2 People also buy not only music on the Internet but albums from music stores.
- 3 People buy albums from music stores instead of music on the Internet.
- 4 People buy music on the Internet rather than albums from music stores.

問6 下線部 (エ) が指す内容を、日本語で説明せよ。

解答例	問 1 解答例：We get the message that (they don't want to communicate with others). 問 2 4 問 3 解答例：①レコード店で(アルバムを)購入 ②音楽の好み 問 4 1 問 5 4 問 6 解答例：アーティストがもはやレコード会社と契約しなくてもよいということ。 本文の内容をとらえ、英語や日本語でまとめる必要がある。 ※英語で「読んで書く」ことができる場合は、英語でまとめる必要がある問題を出題する。 また、語彙レベルや抽象度が高い素材文の内容把握において、深い「思考力」と「表現力」を同時に求める場合は、補助的に日本語で理解した内容をまとめる問題も出題する。
(参考)学 習指導要 領の関連 項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① ウ 読むこと (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。 ① カ 書くこと (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。

サンプル問題について

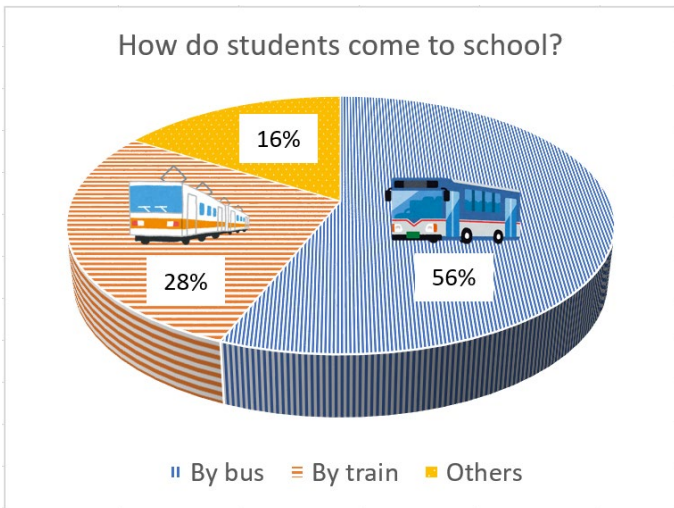
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:ベネッセ 総合学力テスト 1年7月-1年1月
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:3

出題科目	英語コミュニケーション I																		
出題のポイント	表の内容を読みとり、それを適切な英語で表現できるかを測定する。																		
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td colspan="3">思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td colspan="3">○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等			—		○										
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
—		○																	
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td colspan="2">記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td colspan="2">○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式		—			○									
小問番号	選択式	短答式	記述式																
—			○																
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—				○								
小問番号	聞く	読む	話す	書く															
—				○															
サンプル問題	次のグラフは、あるアイスクリーム店のこの半年間の月別売上量を示したものである。この店のアイスクリームの月別売上量について、グラフから読み取れることを 10～15 語の英語で表せ。 (liters) <table><thead><tr><th>Month</th><th>Sales (liters)</th></tr></thead><tbody><tr><td>January</td><td>100</td></tr><tr><td>February</td><td>60</td></tr><tr><td>March</td><td>80</td></tr><tr><td>April</td><td>110</td></tr><tr><td>May</td><td>125</td></tr><tr><td>June</td><td>150</td></tr></tbody></table> (month)					Month	Sales (liters)	January	100	February	60	March	80	April	110	May	125	June	150
Month	Sales (liters)																		
January	100																		
February	60																		
March	80																		
April	110																		
May	125																		
June	150																		
解答例	解答例：This shop sold the smallest amount of ice cream in February. 1 月から 6 月までのグラフの変化を読み取るところが必要なポイント。																		
(参考)学習指導要領の関連項目	英語コミュニケーション I 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① カ 書くこと (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (4) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のため																		

	の多くの時間が確保されたりする状況で，対話や説明などを聞いたり読んだりして，情報や考え，気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。また，書いた内容を読み合い，質疑応答をしたり，意見や感想を伝え合ったりする活動。
--	--

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:ベネッセ 総合学力テスト 1年7月-1年1月
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:4

出題科目	英語コミュニケーション I													
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。													
主として問う能力	<table><tr><td>小問番号</td><td>知識・技能</td><td>思考力・判断力・表現力等</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	—		○							
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等												
—		○												
出題形式	<table><tr><td>小問番号</td><td>選択式</td><td>短答式</td><td>記述式</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	—			○					
小問番号	選択式	短答式	記述式											
—			○											
主として問う技能（英語のみ）	<table><tr><td>小問番号</td><td>聞く</td><td>読む</td><td>話す</td><td>書く</td></tr><tr><td>—</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>	小問番号	聞く	読む	話す	書く	—			○				
小問番号	聞く	読む	話す	書く										
—			○											
サンプル問題	（下記の問題は、「話すこと」（発表）に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。） 以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは 30 秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。 How do students come to school?  ■ By bus ■ By train ■ Others													
解答例	解答例：At this school, students come to school more by bus than train. 解説：グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。													

(参考)学 習指導要 領の関連 項目	英語コミュニケーションⅠ 2 内容 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 (7) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。 (1) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
---------------------------------------	---